

○神	戸	大	学	学	院
金	沢	大	学	工	部
金					

智	山	員	會	生	學
義	浦	會	員	正	部
道	田				

則	秋
滿	松
代	沼

1 まえがき

てわす業者ンすんすんうと。分デ従業て、かるて
い思促従と一供一供一使用の業従しはるない
おとをるゾ提ゾ提ゾてあ。よ際産業とでまとい
にる展、あはをはをはしる論実幹産核こは核に
画な発下でと役と役でと区す理に基幹をこて、性
計に。(要業用業用こ位にと済次に基す。あた能
市要長者重産は産はこ単う位経。との一るがま可
都重成業は幹い幹い、のよ単ずるご自ゾめ形。の
やがの就布基る基るたつのまめン独る求布るせ
決計市地分うあ非あま一どつ、求一、なを分すわ。
解推都業のい財、財。をな一はをゾめく形の討合く
の、(従)でるしるす村市をで式て求き布際核ない
題布にの。こす指す指町浜区究論いを大分実て重て
問分特業ぶこ出を費を市機は研理用度がのにせのし
市口。産呼。移業消業て、でののを密度ら式わん察
都人る幹とるへ産で産ししろこ形た者密れ論合一考
はれ基者え外る内ると但こ。布一業者ぞ理をゾも

2 基幹産業従業者数分布の理論式

基礎関をに数要す生面ちを企る等の費、時るの生産機件関必わの地わ件、す費等擦はのあ数の生規条産に表す土な条はと却金摩と復で者。の、産の生めをう、すう費要消費通用往の業る。経は生大。た係グて、い産必価る交費のも従な。の。ての極るの関ダし件と生に減すは擦際た業に。はるし業潤あ産の、そ条る。めの対で摩るし産う論いと企利で生とは。うするた本にこ通す算幹よりて法をるのの力であるににいる資者こ交送換基のるい方論あもそ働こいと定てす設備て。輸にた次すづく理でうと劣こてる一しを建劣しるで幣れは開基導の件い物び。いあを形動。とそいま貨か式展にを費条と産及る用が率変活る用、て心を導布で論式産るる生財あを限備て産あ費用え都失り分ふこ理論生すす、産で数制装し生で変費加を損よ的こな理と定入は生の関に本入が用不変も品的れ論的。数決導となも産積資導業費の可用製問こ理

$$L = L_0 \exp\left(-\frac{W}{P_B \Delta t} - 1\right) \exp\left(-\frac{a_b q}{P_B \Delta t} t\right) \quad (1)$$

こ に、
 L : 労 働 力 の 単 位 当 り の 人 件 費
 W : 労 働 力 の 販 売 格
 P : 生 産 本 装 備 率
 Δ : 資 本 定 数
 B : 定 業 活 動 に お け る 距 離 の 価 値
 a_b : 企 業 復 分
 t : 都 心 か ら の 距 離
 と る 。 こ こ で 積 累 距 離 の 二 次 関 数 と し て 考 へ る
 あ る 。 シ ー ン 間 に 基 準 距 離 の 中
 ズ 。 す べ っ と 示



図 - 1 ゾーン間累積距離

間でののをやまを積や二目す鉄ゾのとへ離か道。離累車、にに、はンコン距の鉄る距間動でめとはを率一の一のる、あのン自こたこ率の担ゾ離ゾついとはで際一、そるる担も分と距各二てとと実ゾは。すい分たるンたらのっ離こは、段る討用るえす一っかこ合距の離ち手あ検をす加応ゾい)。に間間距わ通でを率応を對するてい。実時時積な交ど性担對率にすし(な現。要累するな当分に担離接積点はりる所間。す車妥通離分距隣累心でよすのンる応輪の交距の積てを中離が討ど一い對二離別間ス累し離。距ら検なげてに・距段時バ間に距る線ちにス、っ離歩の手。とン心のあ直ど次バた使距徒つゝる道一

数1ゾ区の
 者4るの140の
 業第け数〜、
 徒会お者139め
 業学に業.139め
 産木市徒(ppを
 幹土都業(β_k
 基、「産」_k
 ののは幹究とる
 ので会基研α_k
 ーこ演非る求
 ゴこ講ーす数て
 各。術幹関乗し
 る。学基にて入
 ずめ次別法つ代
 ま求年ン方便に
 を回一分を式

こ こ に、
 kw^{Ej} : ゾーン数の K 産業の基幹部門従
 w^{Ej} : ゾーンの総従業者数
 R^{Ej} : ゾーンの常住地就業者数
 k^{α} : K 産業の従業者数
 k^{β} : K 産業の乗数

Figure 1 is a line graph showing the relationship between the density of base industry workers (Y-axis, logarithmic scale from 10 to 10^5) and the cumulative distance between zones (X-axis, linear scale from 0 to 150 km). The graph includes data points and lines for four zones: 千代田区 (Chitose-ku), 川崎区 (Kawasaki-ku), 中区 (Naka-ku), and 鶴見区 (Tsurumi-ku). The density generally decreases as the cumulative distance increases, with some fluctuations.

て、マゾのこんう東るさ
しめる元、一はいは小
し求なばたゾとでてに
をとほまるる区れ常
。布核、。なあ田入非。
る分。とるとに代にはる
みのるすか核囲千下でか
て自あわわは範、響りわ
し独で合がといば影辺が
直の3ねとこ狭えののと
にン一重こる例そ区こ
布一図をるか較。は崎る
分ゾが布なわ比る区川い
のるの分にはあ3もて
常なもの形か響で2どっ
通とたン布図影と都れな
を核み一分ののこ京けく

デ式た核よ。のわ
の論ついにるか思
際理かきとえつと
実たわ大こいくる
、しがのるといあ
は出と度せるはで
布きこ密わな団体
分導う者合く市合
数ら沿業ね近都集
者かに従重にのの
業論数業を形つン
従理関産ン布一
業済数幹一分、ゾ
産経指基ゾのちる
幹、に、る元わな
基タもたなてなとる
一とまどつす核れ